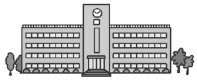


スクール便り



総合学科における農業土木教育

—千葉県立安房拓心高等学校 総合学科 土木系列—

1. 学校紹介

本校は大正11年に安房郡立千葉県安房農業水産学校として設立され、平成26年度に93年を迎えた伝統校である。平成16年に千葉県立安房拓心高等学校と校名を変更し、平成17年には、それまでの農業関係学科と家庭関係学科から、文理系列、園芸系列、畜産系列、土木系列、調理系列からなる総合学科に改編した。水田・畑・温室・牛舎など約75,786㎡にわたる実習地や、食品加工室・ミルクプラント・調理室・土木材料実験室など校舎内外の整った施設・設備を用いて、実験・実習を核にした多様な専門科目が設置されている。

本校が所在している南房総市は平成18年に6町1村が合併し、現在は農業や漁業を中心とする一次産業、観光業が盛んな房総半島最南端に位置する。三方を海に囲まれた温暖な地域で、この土地柄を活用した草花の栽培が盛んである一方、全域が過疎地域に指定されており、少子高齢化が著しく進んでいる。

このような環境にある本校は卒業後地元に残り、地域の産業を支える人材を育てるという重要な役割を担っている。

2. 平成26年度重点目標

- ① 実践力と心身の健康を備えた生徒を育成する。
- ② 基礎学力を定着させ、生徒一人一人の個性と能力を伸ばして進路希望を実現させる。
- ③ 基本的生活習慣や規範意識を定着させる。
- ④ 地域に根ざした、地域に信頼される学校運営をより一層推進させる。

3. 系列目標

授業（含む実習）にきちんとした態度で意欲的に取り組み、土木技術者としての確かな知識と技術を習得させる。さらに測量士補、土木施工管理技術検定試験などの資格取得を目指す。

4. 履修科目（総合学科 土木系列）

- 1年次：測量（2）、進路学習（2）
 2年次：農業土木設計（3）、測量（4）、
 農業土木施工（2）、水循環（2）、
 進路学習（2）



写真-1 千葉県立安房拓心高等学校

- 3年次：農業土木設計（4）、製図（2）、
 農業土木施工（4）、総合実習（4）、
 社会基盤工学（2）

5. 特色ある科目

本校では、1・2年次に進路学習を実施している。総合学科のため2年次より系列の学習を行うが、3年次の総合実習だけでは、十分な実験・実習が行えない。そこで放課後7限目や夏季・冬季休業時に測量実習を行い、生徒の技術向上を目指している。1年次の7限目は、主に測量士補受験に向け授業を行っている。2年次では、公務員対策や農業水利、水文学など通常の授業内では、こなすことのできない範囲の学習をしている。

6. 生徒の諸活動

(1) 体験学習

- ① 測量新技術講習会（2年生）

8月に公益社団法人千葉県測量設計業協会が主催し、地元測量会社5社の指導のもと、現況測量や最新の測量機器の体験などを行っている。

- ② 建設業出前授業（1・2年生）

9月に地元建設業組合青年部が主催し、10名ほどの建設会社従業員の指導のもと建設車両の操作試乗体験を行っている。



写真-2 測量新技術講習会



写真-4 現場見学（首都高田尻JCT）



写真-3 建設業出前授業

(2) 見学研修

・現場見学（2年生）

平成26年度は県内の建設現場（首都高建設現場、千葉港湾環境整備事業、千葉ポートタワー）の見学を県建設業協会の協力により実施した。

7. おわりに

本校はここ数年、進路決定100%を実現しており、地元では就職に有利な高校として認められている。また東日本大震災復興関連、2020年に開催される東京オリンピックのインフラ整備で土木技術者の需要は高まっている。地元建設業はもとより県外でもこれらのニーズに対応できる土木技術者の育成を目指し、各種資格取得をはじめ、将来、土木建設業で活躍できる人材を育てていきたい。

（千葉県立安房拓心高等学校
教諭 山口和之）